



2023年3月31日

各位

日本マクドナルドホールディングス株式会社
 代表取締役社長 日色 保
 (コード番号:2702 東証スタンダード)
 問い合わせ先 日本マクドナルド株式会社
 取締役・執行役員 最高財務責任者 吉田 修子
 TEL 03-6911-6000

支配株主等に関する事項について

1. 親会社、支配株主(親会社を除く)又はその他の関係会社の商号等

(2022年12月31日現在)

| 名 称 | 属 性 | 議決権所有割合(%) | | | 発行する株券が 上場されている 金融商品取引所等 |
|--|------------------|------------|-----------|-------|--------------------------------|
| | | 直接 所有分 | 合算 対象分 | 計 | |
| マクドナルド・ コーポレーション | その他の関係会社の 親会社 | - | | 35.33 | ニューヨーク証券 取引所 |
| マクドナルド・レスト ラン・オペレーション ズ・インク | その他の関係会社の 親会社 | - | 35.33 | 35.33 | なし |
| マクドナルド・グロー バル・マーケッツ・エ ルエルシー | その他の関係会社の 親会社 | - | 35.33 | 35.33 | なし |
| マクド・エー・ピー・エ ム・イー・エー・シン ガポール・インベスト メンツ・ピーティーイ ー・リミテッド | その他の関係会社 | 10.07 | - | 10.07 | なし |
| マクド・ヨーロッパ・リ ミテッド | その他の関係会社の 親会社 | - | 25.26 | 25.26 | なし |
| 3191276 ノバ・スコ シア・カンパニー | その他の関係会社の 親会社 | - | 25.26 | 25.26 | なし |
| マクドナルド・ レストランズ・オブ・ カナダ・リミティッド | その他の関係会社 | 25.26 | - | 25.26 | なし |

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由

| 上場会社に与える影響が最も大きいと 認められる会社の商号又は名称 | その理由 |
|-------------------------------------|--|
| マクドナルド・コーポレーション | マクドナルド・コーポレーションは、マクドナルド・レストランズ・オブ・カナダ・リミティッド、3191276 ノバ・スコシア・カンパニー、マクド・ヨーロッパ・リミテッド、マクド・エー・ピー・エム・イー・エー・シンガポール・インベストメンツ・ピーティーイー・リミテッド、マク |

| | |
|--|---|
| | ドナルド・グローバル・マーケッツ・エルエルシー及びマクドナルド・レストラン・オペレーションズ・インクの資本上位会社であります。当社はマクドナルド・コーポレーションとのライセンス契約を通じて同社グループに存する商標及びノウハウ等を使用しています。また、当社の社外取締役2名および社外監査役1名が同社と兼務しています。 |
|--|---|

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

マクドナルド・コーポレーションは、2022年12月31日現在、子会社6社(マクドナルド・レストランズ・オブ・カナダ・リミテッド、3191276 ノバ・スコシア・カンパニー、マクド・ヨーロッパ・リミテッド、マクド・エー・ピー・エム・イー・エー・シンガポール・インベストメンツ・ピーティーイー・リミテッド、マクドナルド・グローバル・マーケッツ・エルエルシー及びマクドナルド・レストラン・オペレーションズ・インク)を通じて、当社の議決権の35.33%を間接保有しております。

当社は、マクドナルド・コーポレーションとのライセンス契約を通じて同社グループに存する商標及びノウハウ等を使用することが可能であります。

当社の役員のうち、3名がマクドナルド・コーポレーションと兼務しております。また、1名が、そのグループ企業であるマクドナルドミドルイーストデベロップメントカンパニーと兼務しております。同役員らはこれまでの職務における実績、及び豊富な見識を踏まえ、当社の企業価値の向上に貢献できる、又は当社の取締役会・監査役会の機能強化を図る上で適任であると判断され、選任されたものであります。

(役員の間務状況)

(2023年3月29日現在)

| 役職 | 氏名 | 親会社等又はそのグループ企業での役職 | 就任理由 |
|-------|--------------|---|--|
| 取締役 | アローシャ・ウィジェムニ | マクドナルドミドルイーストデベロップメントカンパニー バイスプレジデントビジネスユニット リードミドルイーストアンドアフリカ | 同氏のこれまでの職務における実績、及び豊富な見識を踏まえ、当社の企業価値の向上に貢献できると判断したためであります。 |
| 社外取締役 | ヨー・センペルズ | マクドナルド・コーポレーション シニアバイスプレジデント兼プレジデント インターナショナルデベロップメンタル ライセンスドマーケット | 同氏のこれまでの職務における実績、及び豊富な見識を踏まえ、当社の企業価値の向上に貢献できると判断したためであります。 |
| 社外取締役 | アンドリュー・グレゴリー | マクドナルド・コーポレーション シニアバイスプレジデント グローバルフランチャイジング アンドデベロップメント オフィサー | 同氏のこれまでの職務における実績、及び豊富な見識を踏まえ、当社の企業価値の向上に貢献できると判断したためであります。 |
| 社外監査役 | エレン カイヤ | マクドナルド・コーポレーション バイスプレジデント インターナルオーディット 兼チーフオーディット エグゼクティブ | 同氏のこれまでの職務における実績、及び豊富な見識を踏まえ、当社の監査役会の監督・監査機能等の強化を図る上で、適任であると判断したためであります。 |

(注) 当社の取締役10名、監査役4名のうち、親会社等又はそのグループ企業との兼任者は当該4名のみであります。

当社の取締役 10 名のうち、マクドナルド・コーポレーションのグループに属する会社との兼任者は3名おりますが、他方で、4名の独立社外取締役を選任する等して、マクドナルド・コーポレーションから独立して経営判断を実施できる状況を確保しております。さらに、取締役会の諮問機関として、その過半数が独立社外取締役で構成され、かつ議長を独立社外取締役が務める指名委員会および報酬委員会を設置しています。

マクドナルド・コーポレーションとのライセンス契約については、その内容について、当社及び当社子会社での取締役会での承認が必要となり、取締役会では、当社や少数株主の利益を害することのないように留意し、取引の妥当性を慎重に判断した上で、公正かつ適正に決定をしております。

このような諸施策等により、当社のマクドナルド・コーポレーション等からの独立性は確保されております。

4. 支配株主等との取引に関する事項

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る)等。

当連結会計年度(自 2022 年1月1日 至 2022 年 12 月 31 日)

該当の取引はありません。

(2) 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る)等。

当連結会計年度(自 2022 年1月1日 至 2022 年 12 月 31 日)

| 種類 | 会社等の名称 又は氏名 | 所在地 | 資本金又は 出資金 | 事業の内容 又は職業 | 議決権等の 所有(被所有) 割合(%) | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|----------------------|-------------------------|-------------|---------------|-------------------------|---------------------------|--|----------------|---------------|-----|---------------|
| その他の 関係会社 の親会社 | マクドナルド・ コーポレーシ ョン | 米国イリノ イ州 | 16.6百万 米ドル | ハンバーガ ーレストラン チェーン | 被所有 間接 35.33 | ライセンス契 約に基づくラ イセンス許 諾、役員の 兼任 | ロイヤルティ ーの支払 | 21,527 | 未払金 | 11,267 |

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

当社の連結子会社であります日本マクドナルド株式会社はマクドナルド・コーポレーションとライセンス契約を締結しており、その契約に基づきシステムワイドセールス(直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高)の 3.0%をロイヤルティーとして支払っております。

以 上